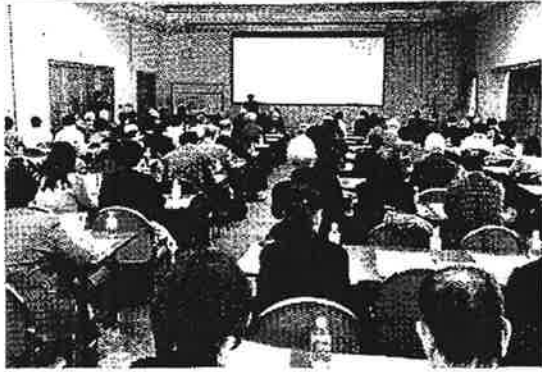


定員を超える約110人もの出席者が熱心に耳を傾けた(1月11日)



賃貸住宅セミナー
法人化などを説明

広島銀

【広島】広島銀行は1月11日、アパート経営を実践していたり、今後、検討している地主など資産家層向けに「賃貸住宅セミナー」を開催した。広島市や

東広島市、呉市から定員を上回る約110人が出席した。相統対策として賃貸住宅の経営に
「ランドオーナー」は半期で200億円前後の実行があり、「ここ数年増加傾向にある」(個人営業部個人ローン室)という。賃貸住宅経営のノウハウに関して12年7月に空室対策にテーマを絞ったセミナーを開催しており、今回は第2弾。

セミナーは3部構成。第1部は同行個人営業部フライベートバキンク推進室のチーフフライベートバンカー兒玉正和氏が「『大家さん』の法人設立による相統対策について」と題して、法人化のポイントやメリットのポイント、法人化・デメリット、法人化に際しての3方式(不動産所有、サフリース、管理委託)などを説明。第2部では、分譲マンション管理会社に勤務し広島大家塾代表である横山顕吾氏が「成功する『大家さん』になるために」と題して「この賃貸住宅経営のリスク回避」をテーマに講演。第3部はセミナー共同開催の積水ハウス広島シャームゾン支店の小杉孝之店長が、賃貸住宅の最近の建て替え事例を紹介した。

